

# 法案 審議再開めど立たず

戦争  
安倍政権混迷深める

戦争法案を審議する参院安保法制特別委員会、自衛隊の統合幕僚監部が同法案の成立や施行の時期を前提に部隊編成などを計画した内部文書問題で中断したままで、再開のめどが立たない状況です。安倍晋三首相、中谷元・防衛相をはじめ内閣全体の責任が厳しく問われる事態となり、17日には野党各党からも首相出席の集中

審議を求める発言が相次ぎました。

民主党の枝野幸男幹事長は国会内で記者団に「集中審議も必要だ」と語り、自衛隊内部文書に関しては「いわゆる一般的なシミュレーションというレベルを超えて、法案の成立を前提に物事が動いている」と指摘しました。維新の党の片山虎之助総務会長も同日の記者会見で「テレビも

入るから集中審議をやったらい」と述べました。

戦争法案の審議日程

をめくり同日、自民、民主両党の参院国対委員長会談が開かれたものの、再開の見通しは立たずに終わりました。野党は自衛隊内部文書の問題を追及し、「法的安定性は関係ない」などと暴言を吐いた磯崎陽輔首相補佐官の再度の参考人招致などを要求。政府・与党は応じず、審議を急ぎながらも混迷を深めています。